

あなたと 青山学院

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

33万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

November 2015 No.19

今号の聖句 主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。イザヤ書 第40章31節

中等部校舎新築工事鋤入式、挙行される

6月30日(火)午後3時30分から、中等部グラウンド(旧アーバンコート前)で、シュー土戸ポール学院宗教部長司式のもと、中等部校舎新築工事鋤入式が挙行されました。

シュー土戸学院宗教部長より聖書が朗読され、西田恵一郎中等部宗教主任による聖別祈禱が捧げられました。

安藤孝四郎理事長は式辞で、「本学院の長い歴史のなか、先人たちが築いてきた中等部の高い評価を、これを機会に先生方にはより高めていただくとともに、中等部の教育理念に沿った学習のいっそうの充実を願っております」と述べました。

次に、敷島洋一中等部部長から、「中等部後援会・緑窓会をはじめ、学院校友の方々、関係の方々さまざまな立場から、この中等部校舎新築工事のために精

神的にも、また財政的にもご支援をお考えくださっていることを大変心強く、深く感謝申し上げます。新しい時代に活躍する生徒を育てるために、中等部では教科センター型教育を実施します。この校舎は150周年に向けた『AOYAMA VISION』を体現する生徒を送り出し、青山学院グローバルアカデミックタウンの一角をしっかりと担うものになると確信しております。中等部のベクトルを一つにして、新しい教育に進んでまいります」とあいさつを述べました。

引き続き、安藤理事長、梅津順一院長、敷島中等部部長、中等部後援会会長櫻井正人氏、中等部緑窓会(同窓会)会長松元茂氏、中等部学友会会長勝隆一君(中等部3年)、近藤道男建設設計室代表取締役近藤道男氏、鹿島建設株式会社取締役社長押味至一氏により、鋤入れが行われました。



式辞・安藤孝四郎理事長

鋤入式終了後、会場をアイビーホールに移し、懇親会が開催されました。梅津院長よりあいさつした後、近藤代表取締役、押味代表取締役社長からごあいさつをいただきました。続いて、筒井祥之中等部教諭による食前祈禱、浦田浩中等部教頭による乾杯の発声の後、和やかな歓談の時を持ちました。

※関連記事が5面に掲載されています

理想の教育環境をめざして ～中等部新校舎概要～

初等部、高等部の校舎建て替えに続き、いよいよ中等部新校舎建築工事が始まりました。

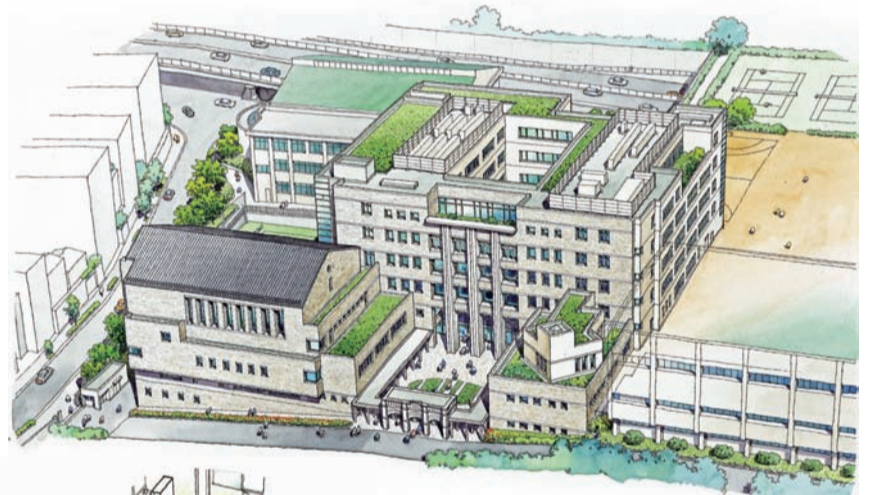
全教職員が1年以上にわたり、討議や勉強会、他校の見学などを重ねた末、新校舎には「教科センター方式」を採用することとなりました。これは、各教科がそれぞれの専用教室を持ち、生徒は授業ごとに目的教室へ移動していく方式です。従来の、教室で教師が来るのを「待つ授業」から、生徒自らが目的の教室へ「向かう授業」へと、授業を受ける姿勢も能動的になります。また、各教科のスペースに入れば、教科の展示や掲示物、学習成果物などから情報を得られ、より充実した「教科教育の実践」が期待できます。

学校教育のなかでもう一つ重要視されているのは、ホームルーム(HR)を中心とした集団活動です。新校舎では、生徒用ロッカーなどがあるホームベース(HB)と呼ばれるスペースと、その隣の教科教室の1室を割り当て、ここが今まで以上のHR活動が可能なクラスの基点になります。ホームベースや教科教室などのある本校舎棟は、傾斜地を生かした地下1階、地上6階の7層で、動線が得やすい回廊型となります。

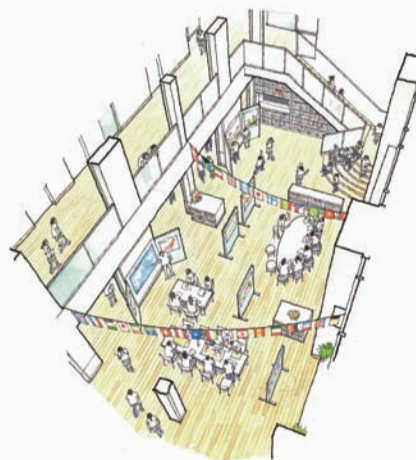
そして、中等部で最も大切にしているのは毎日の礼拝です。これまでは青学講堂で毎日の礼拝を守ってきましたが、今回の建て替えて全校生徒と一緒に礼拝ができる専用チャペルを建てることとなり、今まで以上に心を静かにして神様と向き合うひと時を過ごすことができるようになります。

また、図書室も、各教科のメディアスペースともつながりを保ちながら、時代に沿ってインターネットを通して世界への扉が開かれたメディアセンターとしての機能を持った、さらに実りある智の宝庫となる施設へと変化を遂げていきます。

工期はできるだけ短期間で、また、プレハブなどの仮校舎を使わずに建て替えを行います。I期工事では、技術室、部室があった中庭一帯とアーバンコート2面の場所に本校舎棟を建て、それが完成すると現在の本校舎にあるすべての機能(ホームルーム、教員室、保健室、事務室などの管理機能)と、東校舎にある美術室、理科室、そして最初に移転した技術室が入ります。II期工事では、現在の本校舎を取り壊



鳥瞰図



外国語メディアスペース



礼拝堂

してメディアセンターとチャペルの棟を建て、そこには図書室と音楽室、家庭科室などが入ります。最後に東校舎を取り壊して、テニスコート3面を作る形で竣工となる予定です。

中等部は、この新築工事により、これまで培ってきた伝統を生かしながらも新たな試みに挑戦し、21世紀の青山学院の一翼を担って新生していきます。

CONTENTS

学校法人	中等部校舎新築工事	1
学校法人	地球社会共生学部紹介・今号の聖句	2
学校法人	青学ニュース	3
校友会	支部ニュース	4
校友会	部会・同窓会ニュース	5
校友会 学校法人	駅伝応援マップ	8

校友会	アイビーグループニュース	10
校友会	あのことろ・そして・いま／江上料理学院 院長 江上 栄子さん	12
学校法人	Useful Information	13
学校法人	青学探訪「母校へ帰ろう!キャンパス散策マップ 相模原キャンパス編」	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会本部ニュース	16